

保育所保育指針において、「保育の内容等の自己評価」として、保育士等は自らの保育実践を評価するよう努めること、またこれを踏まえて保育所は保育の内容等について自ら評価を行い、その結果の公表に努めることが示されています。本園でも保育の質を高め、保育の改善・充実を図るため、自己評価に取り組んでいます。園の保育、職員自身の取り組みに真摯に向き合い、謙虚に見つめ直し、目指している保育に結びつけるための評価にしたいと思います。評価の結果を踏まえ改善に努め、日々の保育がより充実したものとなり、子どもたちの健やかな育ちのために努力していくものになるように評価を公表いたします。

評価対象期間

2021 年度（2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで）の保育について

職員自己評価提出期限

2022 年 3 月 15 日（火）

評価対象者

睦保育園職員 22 名

評価責任者 施設長 小野寺文子

評価について

評価は 4 段階

A：達成できた B：ほぼ達成できた C：一部改善を要する D：改善を要する

1 保育の理念・方針・目標

	A	B	C	D	総合評価
① 設立の精神に基づく保育理念と方針を理解している。	9	11	2	0	B
② 設立の精神に基づき、礼拝を重んじている。	12	9	1	0	A
③ 園の方針や目標に基づいて、クラスの年間目標を立てている。	11	9	2	0	A
④ 担当者間で話し合い、主任に相談して保育計画を立てている。	7	11	4	0	B
⑤ 保育計画は一人ひとりの発達にも留意している。	5	13	4	0	B
⑥ 自らの保育を振り返り、反省をまとめ、向上や改善に努めている。	6	12	4	1	B

2、保育の内容

	A	B	C	D	総合評価
① 保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるように配慮している。	7	14	1	0	B
② 子ども一人ひとりの思いを受けとめ、思いに寄り添うことに努めている。	12	8	2	0	A
③ 子どもたちが日々過ごすための安全な環境や衛生に努めている。	7	14	1	0	B
④ 身体的、精神的、情緒的発育等、多面的に子どもの状態を把握することに努めている。	5	15	2	0	B
⑤ 保育中で「ダメ」「ヤメテ」などの否定的な言葉を多く使っていない。	10	6	6	0	A
⑥ 特定の子どもを特別扱いしていない。	16	5	1	0	A
⑦ 保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちよく保育を行えるように心がけている。	9	9	4	0	A
⑧ 行事の計画や実施に当たり、前回の反省を反映している。	11	11	0	0	A
⑨ 子どもの食生活を充実させるために、考えたり、改善を行っている。	11	12	0	0	B

3、園の組織・役割分担

	A	B	C	D	総合評価
① 職場内で連携をとるよう努めている。	5	13	4	0	B
② 研修への参加、専門書等による学習や、知識、技能の向上に取り組んでいる。	7	9	4	2	B
③ 職員間での報告・連絡・相談ができています。	7	11	4	0	B
④ 職場の中で自分の役割を自覚し、努力している。	8	10	4	0	B
⑤ 保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案を行っている。	7	12	2	1	B
⑥ 同僚の思いに寄り添い、協力するよう努めている。	9	10	2	1	B
⑦ 自分が任せられている仕事は責任をもって取り組んでいる。	6	11	4	1	B
⑧ 職員会や話し合いで必要な質問や、意見を発言している。	10	11	1	0	B

⑨ 研修で得た内容は園に報告し、他の職員に伝え保育にいかしている。	11	10	1	0	A
-----------------------------------	----	----	---	---	---

4, 家庭・地域

	A	B	C	D	総合評価
① 保護者に対して、丁寧な言葉遣いや気持ちの良い対応を心がけている。	9	12	1	0	B
② 送迎時に子どもの姿などを保護者に伝えている。	8	12	2	0	B
③ 保護者に子どもの成長や課題を伝える機会をもち、連携をとるように努めている。	8	12	2	0	B
④ 家庭環境での子どもの状況を把握している。	6	12	4	0	B
⑤ 保護者や地域の子育て世帯の意見を受け入れ、保育に反映している。	4	14	4	0	B
⑥ 保護者により対応を変えていない。	11	9	2	0	A

5, 事務管理・運用

	A	B	C	D	総合評価
① 個人情報適切に管理している。	16	6	0	0	A
② 園内で知りえた事柄に関して、守秘義務は徹底できている。	17	5	0	0	A
③ 金銭等を取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている。	18	4	0	0	A

園全体の評価と課題

2021年度も睦保育園理念である、聖書のみことば「光の子として歩みなさい」(エフェソの信徒への手紙5章8節)により、希望に輝く子どもたちの成長を願い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない大切な一人ひとりとして育むことを職員間で確認しながら保育を進めてきた。

コロナ禍にあって、感染防止に努め、行事の変更をしながら、日々の保育が通常通り行えるように、毎朝祈りつつ職員間で保育を進めてきた。評価はほとんどの項目でAまたはBであったが、次年度の課題として、自らの保育を反省し改善に努めること、職場内や、職員会議等で必要な意見を出し合い、子どもの発達につながるように情報交換しながら、園全体で共通理解をしていくことがあげられる。

次年度も新型コロナウイルス感染症の予防と対応を行いながら、神さまに守られていることに感謝しながら、安心・安全な保育を提供できるように、職員一同力を合わせていきたい。